

# 子ども教育 通信



子ども教育学科  
伊東知之 教授

## 先輩たちの 文化活動FILE!

実際に出来上がった絵本  
「越前和紙物語」。



### 越前和紙物語

子ども教育学科4年  
平野友佳子(仁愛女子高校出身)

子ども教育学科の在学学生や卒業生の中には、様々な制作活動や音楽活動を行っている先輩たちがいます。大学は、それぞれのスキルや才能をできる限りバックアップ。その多様な活動を紹介します。

### 当時の生活環境を調べ、たくさんの絵に仕上げた達成感。

越前市の伝統産業である越前和紙について、地元  
に語り継がれている伝説を題材に絵本を仕上げました。  
越前和紙という伝統文化に対して学生の認識を  
深める学科活動の一環として取り組ませてもらったの  
が今回のきっかけです。

私は作画を担当し、構成と文章は伊東知之教授が担  
当してくださいました。制作の流れとしては、まず、情  
報収集から開始。越前和紙の里へ足を運んで資料を  
確認したり、インターネットで調べたりして、当時の弥  
生時代のイメージをつかもうと努力しました。そして、

そのイメージを具体的に目に見えるように絵で描く実  
制作の中で、この時代らしさを反映することが最も苦  
労しました。

伊東先生からは、和紙作りの伝承前と伝承後の登場  
人物の表情の変化にこだわったほうが良いとアドバイ  
スをもらい、作画に活かしました。これまでも絵本を仕  
上げた経験はありますが、これほどの量を描いたこと  
はなく、かつてない大きな達成感を得られたように思  
います。今回は小学生向けの内容でしたが、今後は  
もっと幼い子を対象とした絵本も作ってみたいです。

### 新著 紹介



### 子どもの事故防止に関するヒヤリハット体験の共有化と教材開発

—保育・幼児教育の現職者と実習大学生のキャリア発達から— 伊東知之・大野木裕明・石川昭義著



現職者700余名の回答協力を得て、幼児教育・保育における安全教育の実態と具  
体的な方途をまとめたものです。学生と現職者の危険予知能力を育成するための訓  
練プログラムとして、現場の具体的なヒヤリハット体験の事例を収集、把握し、学生か  
ら現職者までのキャリア教育となる、Q&A式のヒヤリハット認知、危険予知訓練の描  
画教材として開発しました。

(A5 170頁 福村出版 2017年)

# 先輩たちの文化活動FILE!

「福井の特産品絵本図鑑」



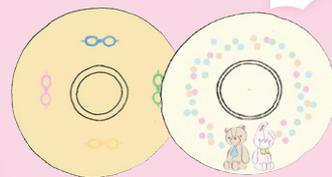
## 絵本図鑑

魚のウロコや食材の色などの表現に苦労しました。

きっかけは福井県が食育に力を入れていると知ったこと。福井の子どもたちに、福井の特産品に対する関心を持ってほしくて、福井で採れる野菜や果物、海産物などが載った絵本図鑑を伊東教授と共同で制作しました。魚のウロコや色などの細かい表現が難しく、図鑑など資料を見ながら何度も試し塗りや重ね塗りを行いました。20年以上福井に住んでいても知らずに過ごしてきた、魚、野菜、郷土料理に触れることができよかったです。



保育士  
吉田くるみ  
(平成29年度卒)



下村さんのイラストがプリントされた食器。



## 食器のイラスト

子ども目線でイラストを作成。立体デザインは初体験。

専用食器に食材を入れてフードコートにセットしておけば、自動的に加熱調理できるインカートシステム。いままで、インカートシステムの食器は大人用しかありませんでしたが、今回、幼児用が開発されることになり、食器にプリントするイラストを担当させて頂きました。子ども目線で楽しさを出すために、可愛くカラフルなイラストを考案しました。立体のデザインを手掛けたのは初めてだったので、とても勉強になりました。



子ども教育学科4年  
下村 紗世  
(武生東高校出身)



## 書道

県書き初め競書大会、準推薦。次はもっと満足できる結果を。

本年1月末に行われた福井県書き初め競書大会で準推薦を受賞しました。結果には満足していないので次はさらに頑張りたいと思います。書道を始めたのは小学校1年の時。姉が習っているのを見て、私も始めたいくなりました。現在4段まで取得して、準会友という資格を得ています。自分の世界に入りこんで集中し、納得いくまで突き詰められるのが、書道の醍醐味だと思います。ここで培った精神力は、幼稚園教諭や保育士を目指すための勉強に活きています。



子ども教育学科2年  
網谷早穂子  
(羽水高校出身)



今回の受賞作  
高校3年生時、  
全国高校総合  
文化祭の受賞作→



## 音楽活動

音楽ユニットでピアノを担当。県内全域をフィールドに活躍中。

現在、福井県を拠点に、全国各地へ演奏家を派遣する会社に所属し、演奏活動を行っています。担当楽器はピアノで、コンサートをはじめ、企業や自治体の式典やイベント参加など多方面に音楽活動をさせてもらっています。ピアノは3歳から。子ども達に音楽を教えたくて仁愛大学へ入学しました。イベントの手伝いをしていた際、「福井を日本のウィーンに」と、県内のクラシック演奏家をバックアップする人物に出会い、転機を迎えました。今後はピアノ講師を目指しつつ、音楽活動を続けていきたいです。



子ども教育学科3年  
三木 杏奈  
(仁愛女子高校出身)



アウトリーチコンサート



ハピリンイベント